

令和6年度

学校自己評価表（報告）

学校運営報告		
学校運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな人間性と知性・教養を兼ね備え、他者と協働しながら積極的に課題を克服していく気概のある生徒を育成し、活力ある地域社会の実現に貢献する。 ・自主・自律の精神と校訓「済美（人通して誇り高く、美しく生きる）」の精神を涵養し、時代の変化に柔軟に対応できる聡明で創造力のある人材を育成する。 	
三つの方針(スクール・ポリシー)		
育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	～卒業までにこのような資質・能力を身に付けた生徒を育みます～ 【普通科】自ら考え、探究心を持って挑戦する生徒 【家政科】生活を創ることに貢献し、探究心を持って挑戦する生徒 【共通】自他を尊重するとともに、他者と協働できる生徒 礼儀正しく、何事にも粘り強く取り組む生徒	
教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ 【普通科】 「知識及び技能を身に付け、しなやかな耐力が備わる活動」を計画します。 【家政科】 「専門的な知識及び技能を身に付け、創る力が備わる活動」を計画します。 【共通】 「礼節と誠意をもって、仲間と支え合いながら着実に成長できる環境」を整えます。 「他者との協働の中で自身の考えを表現し、より良い答えに辿り着く思考力と協働性」を高めます。 「地域・文化・スポーツ等の魅力を発見・継承し、深化させるべく柔軟な発想で探究する態度」を育成します。	
入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	～このような生徒を求めています～ 【普通科】課題を見つけ、探究的に学問を追究する意欲のある生徒 【家政科】課題を見つけ、人々の生活を科学的に追究する意欲のある生徒 【共通】自身の考えを積極的に表現できる生徒 周囲との調和を保つことに優れた生徒	
昨年度の成果と課題	今年度の重点目標	具体的目標
成果 ○全職員体制での小論文・面接指導や特編授業・補習等が実を結び、大学等進学率が、普通科88.3%、家政科41.0%と向上した。 ○1,2年生が参加する探究ゼミ発表会を実施した。また探究推進委員会による組織的な探究活動の検討が始まった。 ○ロイロノートを活用した授業、小論文指導、探究活動が実施されICT活用が促進した。 ○感染症対策と熱中症対策を徹底し、学校行事や部活動を実施し、活気あふれる学校生活が実現した。全国大会出場者が78名(延べ人数)と健闘した。 ○校務支援システムとICT活用により業務の効率化が図られた。 ○9月からnoteが導入され、生徒の活動の様	○基礎学力から思考力まで、進路実現に必要な確かな学力を養成する。 ○「総合的な探究の時間」等を通じて、知識技能・思考力・チャレンジ精神・表現力及び耐力を育成する。	・主体的対話的で深い学びを実現するための授業改善とICTの積極的活用 ・教科横断的な指導を取り入れた組織的な取組の実施 ・PDCAサイクルを意識した指導計画の作成 ・授業公開と生徒からの授業評価に基づく指導方法の改善 ・高大連携を含め、地域の人材を活用した探究ゼミ活動の計画・立案

<p>子を毎週発信した。</p> <p>課題 ○部活動や課外活動、登下校中の学校事故について、安全な環境整備、緊急時の対応方法を徹底することが課題である。</p> <p>○分掌、部活動などの学校組織について業務の効率化、ペーパーレス化等見直しが課題である。</p> <p>○職員の超過勤務時間について、働き方改革を進めることが課題である。</p>	<p>○礼節と誠意を重んじ、自他を尊重するとともに、他者と協働する力を育成し、いじめの起こらない学校づくりを目指す。</p>	<p>・「いじめ防止対策推進法」、及び「新潟県立長岡大手高等学校いじめ防止基本方針実践のための行動計画」に則ったいじめ防止対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活に関するアンケート、いじめに関するアンケート等を活用した情報収集と報告・連絡の徹底 ・教育相談委員会や学年会、職員会議等における生徒情報の共有 ・外部連携を含めた教育相談の充実 ・職員研修をとおした指導力の向上
<p>○家庭と連携して心身ともに健康な学校生活が送れるようサポートし、部活動や学校行事を通して豊かな人間性を育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立 ・あいさつの励行 ・学校自己防止を目指し、授業・部活動・課外活動での安全指導 ・学習と部活動の両立 ・学校行事の充実 ・学年便り、note、HP を活用した情報発信 	
<p>○ 持続可能な学校体制を目標に、業務の効率化、ペーパーレス化等、ワークライフバランスの推進に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・DX化による業務の効率化 ・授業や部活動、学校行事等の内容精選 ・アフターコロナの発想で部活動や学校行事の実施方法の再検討 	

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価	
<p>○基礎学力から思考力まで、進路実現に必要な確かな学力を養成する。</p> <p>○「総合的な探究の時間」等を通じて、知識技能・思考力・チャレンジ精神・表現力及び耐力を育成する。</p>	<p>1 学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予習・授業・復習という基本的な学習サイクルを確立させる。 ・総合的な探究の活動を通して視野を拡げ、学びを深め、進路目標を早期に具体化させる。 	<p>時間や提出期限を厳守させ、学習習慣の確立を促す。</p> <p>週末課題を調整し、適量の課題を出す。</p> <p>スタディサプリを活用し、個別最適な学びの環境を提供し、生徒の主体性と学習意欲を伸ばす。</p> <p>朝学習の実施により1限の授業への円滑な移行を図る。</p> <p>グローバルな視点を持ちながら、地域や社会の課題に着目させ、課題解決のために仲間と協力して取り組ませる。</p>	B	A
	<p>2 学年</p> <ul style="list-style-type: none"> 予習・授業・復習という学習サイクルを確立させる。 ・進路目標を早期に具体化させ、総合的な探究の活動を通して学びを広め深める。 	<p>朝学習を実施して集中力を高め、1限の授業への円滑な移行を図る。</p> <p>授業内容を精選・工夫し、主体的に取り組む姿勢を引き出す。</p> <p>週末課題を調整し、適量の課題を出す。</p> <p>スタディサプリを活用し、個別最適な学びの環境を提供し、生徒の主体性と学習意欲を伸ばす。</p> <p>グローバルな視点を持ちながら、地域や社会の課題に目を向け、課題を解決するために仲間と協力して調査研究に取り組ませる。</p>	A	A
	<p>3 学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業第一主義を貫き、効率的・効果的な学習を模索させていくことで、多くの生徒の進路希望実現につなげる。 ・探究学習で身につけた力を、教科の学習や社会における新たな探究課題の設定・実践につなげる。 	<p>朝学習を実施して集中力を高め、1限の授業への円滑な移行を図る。</p> <p>授業内容を精選し、主体的に取り組む姿勢を引き出す。</p> <p>6月から平常補習を実施し、大学入試に対応した学力と、実践力を養成する。</p> <p>多様化する進路に対応するため学習支援アプリ等を活用し、生徒の目標と実行のサイクルを支援する。</p> <p>小論文指導、面接指導、志望理由書作成を通して、自己を振り返り、将来の探究課題や実践の在り方を考えさせる。</p>	A	A
	A	A	A	A
	B	A	A	A
	A	A	B	A
	A	A	A	A
	A	A	A	A

	教務 ・学習指導と特別活動のバランスのとれた学校運営を図り、学習環境と学校生活の充実を図る。	充実した年間行事計画を作成し、授業時数の確保を図るとともに、各行事等を検証することで次年度計画の改善に努める。	A	A
		各種行事や式典を円滑に行い、学校への帰属意識を高める。	A	
	進路指導部 ・多様な生徒の進路希望を実現するため、組織的・計画的な教育活動を総合的に展開する。 ・全職員体制で進路実現のための適切な支援指導を行う。 ・新しい学力観に基づく資質・能力の育成を組織的体制で行う。 ・適切な情報を保護者と共有しながら、生徒自身が主体的・自律的に進路実現に向かうよう家庭と連携して支援を行う。	進路指導計画に基づき、各進路行事の意義を再確認し、統一の方針で指導する。	B	B
		補習や模擬試験、検討会などを充実させる。	B	
		多様な生徒の進路希望実現のため、各種案内を掲示または配信し、個に応じた細やかな指導に留意する。	B	
		模擬試験等の結果を分析して 教員間で情報共有し、改善に向けた指導を行う。	B	
		「進路の手引」を発行する。	B	
		主体的な学びを生徒に促し、PDCAサイクルに基づく着実な基礎学力の定着を支援する。	B	
	学年集会や保護者対象の進路説明会などを通じて、適切な情報提供を行う。	B		
	教育情報部 ・図書館の活用を促す。	教科学習、学校行事、進路決定などの手助けとなるよう図書館資料を充実させ、利用の促進を図る。	A	A
探究推進委員会 ・自ら考え探究心を持って挑戦する生徒を育成する。	高大連携、外部人材活用を通して、求められる資質・能力の育成を促す。	A	A	
	学年や進路指導部と連携して、持続的で組織的な探究活動を企画立案する。	A		
○礼節と誠意を重んじ、自他を尊重するとともに、他者と協働する力を育成し、いじめの起こらない学校づくりを目指す。	生徒指導保健環境部 ・長岡大手高校生としての自覚を持たせ、高い規範意識を育成する。 ・適切な学習環境作りに努める。	服装および頭髪については自分で責任を負うように恒常的に指導する（服装自由化宣言の意味を理解させる）。	A	A
		携帯電話のマナーやインターネット、SNS等のトラブル防止の意識啓発を行う。	A	
		大清掃・除草等を計画的に実施する。	A	
		美化委員会の日常的活動を通して、全校生徒に自主的な行動を促す。	A	
	人権教育・同和教育推進委員会 ・人権意識とそれを支える豊かな心を育むとともに、人権啓発に関して保護者と連携を図る。	人権教育・同和教育講演会と「生きるV」を活用した学習会を実施し、生徒職員の人権意識啓発を図る。	A	A
		学習会後に、職員アンケートを実施する。	A	
		講演会を保護者に案内し、連携強化を図る。	A	
	教育相談委員会 ・生徒の実態把握に努め、支援を充実させる。 ・いじめの未然防止・早期発見に努める。	QUテストを実施し、困難を抱える生徒を把握して、生徒指導に役立てる。	B	B
		いじめに関する職員研修会を開催する。	B	
		学年やSCと連携し生徒を支援する。	B	
○家庭と連携して心身ともに健康な学校生活を送れるようサポートし、部活動や学校行事を通して豊かな人間性を育む。	1 学年 ・心身ともに健全な生徒の育成を図り、基本的な生活習慣を確立させる。	部活動や学校行事、課外活動への参加を通して他者との交流を促す。	A	A
		生活記録表を活用し、起床・就寝時間などの生活習慣の確立を促す。	A	
		学年だよりやnoteを通して情報発信を図る。	A	
		アセスメントテストや模擬試験などの結果を活用しながら、将来の進路目標を意識させる。	A	
		面談を通して生徒の進路意識を高める。	A	

2 学年 ・ 基本的な生活習慣を確立させ、心身ともに健全な生徒の育成を図る。	部活動や学校行事、課外活動への参加を通して他者との交流を促し、個々の役割を果たすことで自己肯定感を高める。	A	A		
	頭髪・服装の指導などを通して規範意識を高め、学習に集中する雰囲気をつくる。	A			
	学年だよりやnoteを通して情報発信を図る。	A			
	面談を通して生徒の進路意識を高める。	A			
	模擬試験の結果を効果的に利用し、卒業後の進路についての目標を立てさせる。	A			
3 学年 心身ともに健全な生徒の育成を図り、最上級生として1・2年生の模範となる学校生活を送らせる。	頭髪・服装指導などを通して規範意識を高め、学習に集中する雰囲気をつくる。	A	A		
	進路情報を適宜発信し、面談等個別指導を充実させる。	A			
	体育祭などの学校行事で仲間との協働性を強化し、集団をより良い方向に導く姿勢を育成する。	A			
生徒指導保健環境部 ・ 交通安全意識を高める。 ・ 家庭や地域と連携した指導を実施する。 ・ 自主的に心身の健康管理ができる生徒を育てる。	自転車の運転マナーを徹底させる。自転車には必ずステッカーをつけさせる。	A	A		
	駐輪場の整理整頓を行う。	A			
	生徒の問題行動に対して学年、クラス、家庭と連携して再発予防に全力をあげる。	B			
	地域、警察、他校と定期的に情報交換を行う。	A			
	健康調査等を実施し、健康状態や管理状況を把握する。	A			
総務部 ・ 生徒や保護者、地域への情報発信を行う。 ・ 保護者、同窓会、後援会等との連携の中で、「生徒を育てる」という共通認識を深める。	各種奨学金制度の案内を行い学習環境の充実に努める。	A	A		
	オープンスクールや授業公開を実施する。	A			
	P T A 活動の広報及び東山大遠足給水活動への保護者の参加を依頼し、協働して行事運営にあたる。	A			
	保護者の大学見学会を企画し意識喚起に資する。	A			
	PTA活動における業務改善や資料のペーパーレス化を図る。	B			
生徒会指導部 ・ 学校行事やHR活動への生徒の積極的参加と自主的運営を図る。 ・ 部活動を通して、生徒の健全な心身を育成する。	生徒会執行部と教員の連絡を密にし、生徒会活動の活性化を促す。生徒会やHR活動を可能な限り自主的に運営させる。	A	A		
	体育祭、済美祭及びスポーツ大会の充実を図る。	A			
	部活動説明会、壮行式、表彰式などにより、部活動への加入を促す。	A			
	各部活動ごとに目標を立て活発に活動させる。	A			
教育情報部 ・ 日常の教育活動等を保護者と地域に向け積極的に情報発信する。	学校HPやnote、保護者用メールシステムを通じて情報発信を行うとともに、各学年、教科でGoogleClassroomやロイロノートを活用し、ICT教育の充実を図るよう促す。	A	A		
○ 持続可能な学校体制を目標に、業務の効率化、ペーパーレス化等、ワークライフバランスの推進に取り組む。	教務部 ・ 職場全体の業務の効率化を図る。	校務支援システムとグループウェアの活用を促す。	A	A	
		FST、グループウェアキャビネット等の整理を行い、連絡や引継ぎを円滑にする。	B		
	総務部 ・ PTAと連携して持続可能な学校体制の実現に向けて取り組む。	役員選出やPTA活動が円滑に進むよう他部署との連携を強化する。	A		A
		Googleフォームを活用して保護者アンケートを行い、保護者や職員の負担を軽減する。	A		
	教育情報部 ・ 情報化環境の整備、活用とペーパーレス化を推進する。	タブレット端末や電子黒板などのICT機器の活用及びオンライン教材や学習支援ツール活用を促進する。	A		A
		ペーパーレス化を検討・導入し事務処理の効率化を図る。	B		
成果	○進路実現に必要な確かな学力養成及び「総合的な探究の時間」の充実	○進路実現に向けて、学力の向上と主体的な探究活動を推進した。外部人材を活用した探究活動を展開し、1・2年生合同の最終発表会を実施した。また、DXハイスクールの採択を受けて、データとAIを活用した探究活動カリキュラムが順調に開発され、次年度以降の実施に向けての準備が整った。進	総合評価	A	

	<p>○礼節を重んじ、自他を尊重し、協働力を育成、いじめのない学校づくり</p> <p>○家庭と連携し、健康な学校生活を支援し、部活動や行事で豊かな人間性を育成</p> <p>○業務効率化やペーパーレス化を進め、持続可能な学校体制とワークライフバランスを推進</p>	<p>路指導においては、早期からの指導と職員一丸となった個別指導が功を奏し、国公立大学合格者が103名（273名中）という成果を上げた。この取組により、基礎学力の定着とともに、思考力や実践力を育成し、個々の生徒の進路実現に貢献した。</p> <p>○礼節と誠意を重んじ、いじめのない学校づくりを目指し、服装や携帯電話のマナー指導、SNSトラブル防止意識啓発を日常的に指導した。昨年度以上に外部機関やS Cとの連携が進み生徒支援体制が強化された。</p> <p>○部活動や学校行事を通じて生徒間の交流を促進し、自己肯定感を高めた。生活習慣の確立と済美の精神を意識させ、規範意識を高める指導を実施した。全国大会出場を果たした部活動が5つ（個人活動1つ）、さらに北信越等ブロック大会への出場も昨年度以上となり、顕著な成果を上げた。さらに、ホームサービス・メールメイトの活用によるペーパーレス化とnoteを通じた情報発信が効率的な情報伝達と連携強化に寄与した。</p> <p>○校務支援システムやグループウェアの活用を促進し、FSTやキャビネット整理で連絡や引継ぎを円滑にした。Googleフォームを利用したアンケートで負担軽減を図った。ICTやアプリ、生成A Iの活用を促進し、ペーパーレス化と事務処理効率化を促進した。</p>	
--	---	---	--